

JICA & APARI フィリピンプロジェクト 活動報告

第5回派遣(2011/5/9~15)

アパリは、平成21年度よりJICA(国際協力機構)の草の根技術協力事業として、フィリピン、マニラ市の貧困層における薬物依存症者に対する回復支援推進事業を展開しています。本事業により、5月9日から7日間、日本のメンバー3名(三浦、山本、古藤)がフィリピンに行ってきました。

この事業は、フィリピンで薬物依存の回復プログラムを提供しているFWC(ファミリー・ウェルネス・センター)というNGOと協働で実施しています。中心的な活動は、マニラの貧困地域でミーティングを定期的に行うことと、その運営のための人材育成です。現在、マニラ首都圏のタタロンという地域で、月に2回ほど、ARM(アディクション・リカバリー・ミーティング)という名前のミーティングを行っています。実際にこのARMを運営しているのは、フィリピンの5人のコアメンバーたちなのですが、コアメンバーたちも回復者なのです。

今回の訪問の主な目的は、昨年からはじまったARMのフォローアップと、現地スタッフたちとの意見交換、そして、フィリピンの行政機関・NGOとのネットワークの構築です。フィリピン側のプロジェクト・マネージャーであるFWCのリッチー氏をはじめ、他のスタッフやコアメンバーたちと久しぶりに会い、ARMについて、そしてこれからどのように普及させていくことができるか、滞在を通していろいろと話しを深めることができました。また、ARMを実施しているタタロンのNGOスタッフやARMの参加者との再会、他の地域のNGOや現地のJICA、保健省ともミーティングをして、貴重な意見を頂戴しました。さらにJICAを通して、マニラのストリートチルドレンをサポートしているICANという日本の団体の現地スタッフの方々とお会いし、ネットワークを広げることもできました。

このプロジェクトもついに最終年度を迎えました。今年は、今後どのように発展させていくことができるか検討しながら進めていく1年となります。

< 第5回渡航スケジュール >

5/10(火):ファミリー・ウェルネス・センターにて打合せ
JICAフィリピン事務所にて現地NGOと会合

5/11(水):ビジネスミーティング

5/12(木):タタロンのARMミーティング視察

5/13(金)午前:保健省にて会合
午後:JICAフィリピン事務所にて打合せ

5/14(土):教会Hope for the World訪問



JICAフィリピン事務所にてアパリの活動をプレゼン



ICANの現地スタッフと交流を深めました



FWCにてビジネスミーティング



教会Hope for the Worldを訪問しました



フィリピン保健省での会合の様子



タタロンでのARMの様子